

# 秋田大学 高等教育グローバルセンターニュースレター

Vol.9  
2023.9

GLOBAL CENTER FOR HIGHER EDUCATION NEWSLETTER



## 秋田大学 大学間国際交流協定の締結について

2023年2月～2023年7月までに、秋田大学では新規に計2大学との間で大学間国際交流協定を締結しました。



【学術交流協定】を締結

台湾 国立成功大学 締結日：2023/2/20

ボスニア・ヘルツェゴビナ 東サラエボ大学 締結日：2023/2/22

台湾 長榮大学 締結日：2023/3/3

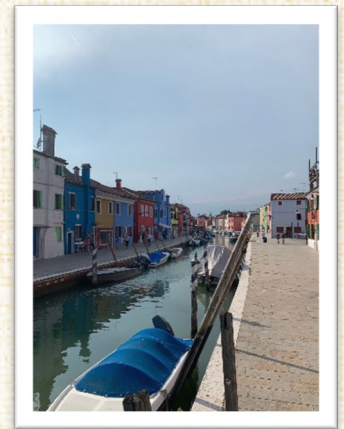
## 留学体験記

### 教育文化学部 地域文化学科 国際文化コース 4年次 沢井 冨

私は2022年9月から2023年7月までの約10ヶ月間、イタリアのフェラーラ大学での交換留学を行いました。フェラーラは中部イタリアにあり、中世ルネサンス期の名残を多く残す街並みが特徴です。普段は穏やかな雰囲気のある街ですが、伝統行事やイベントのある日には街全体で盛り上がります。

フェラーラ大学では人文科学部に所属し、美術史や建築史、都市や地理に関することをイタリア語で学びました。留学前はイタリア語で会話する機会が少なく、正直不安を抱えて留学を開始しました。ですが段々と自分の語彙力が増えていったり、会話を重ねていったりするにつれ、自分の語学力の向上を実感することができ、留学中の大きな喜びの一つとなりました。また、それまでインターネットや本で見ていた作品を、目の当たりにしたことによって、それまで作品に抱いていた印象が変わったり、街と美術作品とのつながりを感じたりすることができました。

留学中に挫けて投げ出しそうになってしまった時や、落ち込んでしまう度に、何度も「なぜ留学をしたと思ったのか」と自分に問いかけました。そうすることによって目的を見失わずに行動し、後悔のない選択をすることができました。今、このような経験ができたことによって、視野が広がり、自分の人格がアップデートされたように感じます。留学はいつでもできますが、今しかできない経験もあると思います。私はこれからも自分の心に素直に一生懸命行動していく所存です。





## 国際交流イベント「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」

2023年5月24日（水）および6月21日（水）に「LET'S MEET UP! -多言語で話そう-」が開催されました。6月21日の参加学生による感想を紹介します。本イベントは、日本語または様々な言語によってコミュニケーションをするイベントです。次回開催の際にはa・netにて告知しますので、ぜひご参加ください。

### 教育文化学部 地域文化学科 国際文化コース 2年次 安楽 みなみ

日本人以外の学生と交流を持つことができ、言語習得に役立つほか、外国のことを知るきっかけともなりました。私はこれまでに英語でコミュニケーションをとる機会がほとんどなかったため、参加を決めたもののきちんと意思疎通できるか不安を感じていましたが、とても楽しめて、参加してよかったと感じています。短時間でも、英語での受け答えの仕方、テンポ感などを少しでも肌で感じることができましたし、グループ対抗のクイズでは、世界の服装と給食についても知ることができ、言語に関わらず、世界の文化にも触れることができました。まだ人と英語でコミュニケーションをとることに不安はあるものの、初めの大きな一歩を踏み出せたように感じます。



### 国際資源学部 国際資源学科 資源政策コース 1年次 YUERAE DANEAL ユレイ ダニエル

“Halo Mina-san, Konnichiwa! My name is Yuerae Daneal, I am a freshman student at Akita University. On June 21st, I went to the "LET'S MEET UP" event at the Global Centre for Higher Education at Akita University”.

It was a chance to mingle and make connections with others through a common interest. The opportunity to meet people from different parts of the world at this event was a lot of fun as well as educational. I had a great time and met many interesting people. Some of the topics we discussed while playing these fun icebreakers included: countries, colleges, cultural attire, lunch for students in each nation, and hobbies. I picked up a lot of knowledge about foreign cultures as well, particularly their languages. As a student, I honestly didn't expect to have that much fun! I'm really excited for the upcoming "LET'S MEET UP" gathering!



## 令和5年度第1回 秋田大学海外留学説明会

2023年5月30日（火）、海外留学説明会が対面とオンラインのハイブリット形式で行われ、計19名の学生が参加しました。本説明会では、海外留学を考えている本学の学生が今後1～2年先を見据えた留学計画を立てられるよう、海外留学制度に関する情報提供を行ったほか、留学経験のある学生及び留学中の学生との座談会および質疑応答を実施しました。本説明会の一部は右のQRコードよりご覧いただけます。

また、後期にも今年度2回目となる説明会を開催予定です。



<https://www.youtube.com/watch?v=yArxcjKVa7s>

## 令和4年度 秋田大学 教養基礎教育優秀授業奨励賞

高等教育グローバルセンターでは、教養基礎教育科目の授業評価（総括的）において、学生からの評価が特に高い教員を、優秀授業奨励賞受賞者として年に1度表彰しています。

令和4年度 秋田大学教養基礎教育優秀授業奨励賞を受賞された3名の先生方に「授業における工夫」、「授業の狙い・考え方」、「学生に対する思い」を授業の概要とともに伺いました。

### 🗨️教育文化学部 准教授 内田 昌功

私は「中国語Ⅰ」を担当しています。履修者は1年生が中心で、ほぼすべてが初めて中国語を学ぶ学生です。授業では発音練習から始まり、基礎的な文法や語彙を学び、簡単な会話の練習をします。基礎練習が多く、どうしても暗記と反復練習が中心の単調な学習になりがちで、私も常々反省しているところです。ただ学生にとって新しい言語を学ぶことはとても新鮮な体験であり、教室の雰囲気は悪くなく、教えやすいです。

初習期は力の伸びが速く、また学生自身もそれを実感しやすい時期だと思います。現在の課題の一つとして、学生が得た小さな喜びや満足学習意欲の維持につなげていくことができると考えているのですが、これがなかなか難しく試行錯誤しているところです。

### 🗨️理工学研究科 准教授 菅原 透

私は基礎力学IB, IIBを2019年度から担当しています。この科目は1年次の必修の基礎教育科目で、毎年120-130名の学生が受講しています。

2019年度は板書中心の通常の対面講義をしていたのですが、2020年度のCOVID-19の流行とそれに伴う遠隔講義の実施要請により、講義動画を用いた反転授業形式に切り替えました。さらに、2021年度以降は反転授業+アクティブラーニング形式で実施しています。その結果、学生の学習時間が飛躍的に増加する同時に、授業評価の「この授業を総合的にみてよかった」の比率も大きく増加しました。

この講義を実施するにあたって様々な工夫をしています。ここには書ききれないため、機会があればまた別途ご紹介したいと思います。

### 🗨️高等教育グローバルセンター 准教授 濱田 陽

授業の方針として、英語を使う事に対する抵抗をできるだけ軽減し、コミュニケーション力を高めるために、学生同士の英会話・アクティビティを常に取り入れ、学生が中心となって授業が進む形式をとっています。英語学習は楽しいものという事をできるだけ多くの学生に感じてほしいと思っています。

また、前回受賞した際と令和4年度の違いは、学生との対話方法です。コロナ禍が始まってから、できるだけ学生との接点を増やすために、WebClassを利用して毎時間感想やコメント記入をしてもらっています。コメントには全て目を通し、できる限り毎時間コメントにも返すようにしています。学生が日々感じている事や、授業に対する細かい要望、感想が直で伝わってくるため、学生と私が共有する唯一無二の時間を生み出すこととなり、私自身も前以上に楽しめるようになりました。



## 新任教員の就任挨拶



高等教育グローバルセンター  
助教 服部 圭祐

本年度4月より高等教育グローバルセンターの助教として勤務しております、服部圭祐と申します。

主な研究対象としているのは近代日本の倫理学で、福沢諭吉や西田幾多郎、和辻哲郎などといった人々の考えたこと（「よい」「わるい」とはどのようなことか、人間の人間らしさはどこにあるか、など）が、どのようにその後の学問や社会に受け入れられ、現代の我々の生活・考え方に影響を与えているか、を明らかにしようとしています。

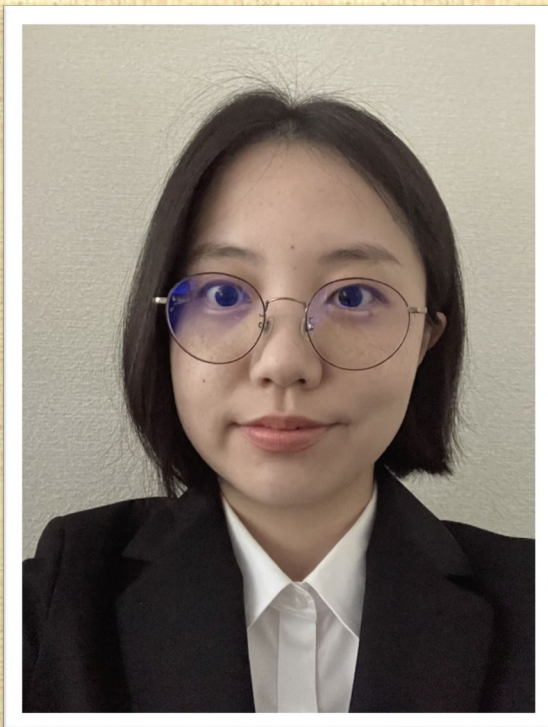
授業では、生命倫理学などの大学生向けの道德・倫理教育に関わる科目を中心に担当しています。まだまだ教員としても社会人としても初めて経験することが多く、追いつくのに必死ですが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



高等教育グローバルセンター  
助教 権 裕羅

本年4月に高等教育グローバルセンターに赴任した権裕羅（クオン・ユラ）と申します。専門は日本語学で、日本語の形容詞の意味や構文的特徴について研究しています。今は、使役構文や比較構文など構文における形容詞のふるまいと意味の関連性について考察しています。私は形容詞の中で特に「感情形容詞」が好きですが、その特徴を見ることで感情に対する人の捉え方が色々考察できるので面白いです。

今は「多文化コミュニケーション入門」という授業や日本語の授業を担当しています。授業をしながら日本語についても自分自身についても新しく気付くところがあり、なんだか日々成長を感じています。これからの秋田での生活がとても楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。





## 専任教員からひとこと

高等教育グローバルセンター  
助教 浜田 典子

日本語の授業の中で、留学生と一緒に、小学生に国際交流イベントを行うというプロジェクトワークをしています。

学生たちは最初「〇〇国／〇〇地域の文化」という紹介をするイベントをしようとしていました。でも、ディスカッションを通して、「この情報は本当に正確なことなのだろうか」「このようなイベントをすることで、子どもたちにステレオタイプを植え付けることにならないだろうか。」「子どもたちに何を感じ取ってもらうことを目指せば『国際交流イベント』として成功することになるのだろうか。」という疑問を持つようになっていました。

最終的に学生たちは、「『私』というものに興味を持ってもらうにはどうすればいいだろうか。」という問いを持つようになりました。そして、「自分たちも『小学生』として一括りに見るだけでなく、その子一人ひとりを知っていく過程が必要なのではないだろうか」と話していました。

学生同士の対話を傍らで聞きながら、目の前の人をどれだけ大切に見ているのか、それを思い出す機会となりました。



## 秋田大学 国際交流関連データ

■国際交流協定校数（2023年5月1日現在）  
大学間協定（35か国・地域73大学）  
部局間協定（22か国・地域38学部等）

■留学生数（2023年5月1日現在）  
学部生 104名  
大学院生 119名  
交換留学生・研究生等 40名  
合計 263名



編集・発行：

国立大学法人 秋田大学 高等教育グローバルセンター

連絡先：国際課（国際交流部門事務担当）

TEL：018-889-2870 E-MAIL：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

総合学務課（教育活動部門・教育開発部門事務担当）

TEL：018-889-3192 E-MAIL：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp